

※今月のみ受注の書目です。

経済 / 日本史

近代日本の「情報革命」

(2024年6月中旬刊行予定)

杉山伸也 (慶應義塾大学名誉教授) [著]

A5判上製 / 408頁 税込予価 8,800円 ISBN978-4-7664-2967-1 C3033

👉 ココに注目!

- ・近代日本が経験した「情報革命」の実態を明らかにする試み。
- ・明治政府の情報インフラ整備はいかに地域産業振興に役立ったのか?
- ・今後の「情報の経済史」研究の基盤となる一冊。

明治期日本の郵便・電信事業等の情報インフラ整備・利活用の実態を一次資料に基づき詳細に分析。また、群馬・長野の養蚕・製糸・絹織物業を事例に、殖産興業政策における情報インフラの役割や、地域産業の発展過程を明らかにすることで供給・需要の双方から「情報と経済」の関係を考察する。「情報の経済史」研究の文献紹介・論点整理の書としても有用性の高い一冊。

対象 (経済史・日本近代史を専攻する) 研究者、学生

類書 大野哲弥『国際通信史でみる明治日本』(成文社)

【営業部からのおすすめポイント】

現在、私たちは情報通信技術の発達による経済活動や生活の変化の真っ只中にいますが、それに勝るとも劣らない変化を経験したのが明治期の人たちでした。急速に発展する郵便・電信技術に、当時の人々はどのように対応し、また活用したのか。近代の情報革命が当時の経済社会に与えた影響を知ることは今日を生きる私たちにも多くの示唆に富みます。

(乙子)

👉 目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【目次】

序章 一九世紀の「交通・通信革命」

一 「交通・通信革命」の時代／二 近代日本における通信事業／三 近代日本の「情報革命」／四 本書の構成

第一章 明治初期の郵便事業収支

はじめに／一 明治初期の財政・会計システム／二 郵便事業システムの形成／三 郵便事業の収支統計／四 郵便事業の収入構造／五 郵便事業の支出構造／六 郵便収支統計の再検討／おわりに

第二章 明治期の電信事業の発展と収支

はじめに／一 電信事業の開始とネットワークの拡張／二 財政会計制度と電信収支統計／三 電信事業の収入構造／四 電信事業の支出構造／五 電信事業の収支損益／おわりに

第三章 明治前期における郵便ネットワーク

はじめに／一 郵便制度の創設／二 郵便ネットワークの形成——全国的概観／三 一八八〇年代の郵便ネットワーク——府県別検討／おわりに

第三章補論 欧米人のみた幕末・明治初期の日本の郵便

はじめに——飛脚便から郵便へ／一 オールコック『大君の都』にみる幕末の郵便／二 イザベラ・バードの『日本奥地紀行』／三 旅行ガイドブック『日本旅行案内』／四 「英国領事報告」にみる日本の交通・通信状況／おわりに

第四章 明治日本の「情報革命」

はじめに／一 情報ネットワークの形成／二 通信事業と料金体系／三 情報ネットワークの利用と地域性／おわりに

第五章 情報・通信ネットワークの形成と地方経済 I——明治期群馬県の郵便と電信

はじめに／一 徳川期の情報ネットワーク／二 情報インフラストラクチャーの形成——郵便制度における連続と断絶／三 群馬県における郵便・電信ネットワークの形成／おわりに

第六章 情報・通信ネットワークの形成と地方経済 II——明治期長野県の郵便と電信

はじめに／一 飛脚制度と「新式郵便」の開始／二 情報利用のマクロ的考察／三 長野県における郵便・電信ネットワーク／おわりに

第七章 福澤諭吉『民情一新』と「文明の利器」

はじめに／一 『民情一新』をめぐる研究／二 『西洋事情』における文明の「利器」／三 『学問のすゝめ』と『文明論之概略』にみる「国の独立」と「文明の精神」／四 『民情一新』と「文明の利器」／おわりに——『民情一新』その後

第八章 情報の経済史——研究動向と課題

一 情報の経済史——Version 1.0／二 一九九〇年代以降の研究動向——Version 2.0／三 「情報の経済史」の課題



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		杉山伸也 著		
		近代日本の「情報革命」 ISBN978-4-7664-2967-1 C3033	8,800 円	★★

★1つで「500部」を表します